

## 県陵東京同窓会 HP 運営検討状況報告

HP 検討委員 濱田 草野 二木

以下3点について、状況を報告します。

- 佐原さんからの運営引継ぎ(2022年3月～4月)
- 直近のコンテンツ更新予定(新卒生向けアプローチ)
- 2022年4月以降のHP制作システム、環境

### 1. 佐原さんからの運営引継ぎ(2021年3月～4月)

現在佐原さんが運営する東京同窓会HPの運営は、2022年3月から現制作環境(BiND up)にて引き継ぎを開始し、4月には新体制で運営する。

但ししばらくの間は佐原さんにはアドバイス、サポートをお願いしたい。

### 2. 直近のコンテンツ更新予定(新卒生・若手向けアプローチ)

#### 【目的】

- ・東京同窓会ならびにHPの認知度を上げる。
- ・上京した時に助け合える縣陵の先輩がいることを知ってもらう。

・卒業生ならびに保護者の方向けにQRコードを作成し、縣陵東京HP内にアップしておく  
YouTube動画を見られるように誘導し、東京のホームページにYouTubeコンテンツがあるということをアピールして若い世代に興味を持ってもらう。

・3月の卒業式でQRコードを用いて東京同窓会の紹介をさせてもらう(校長先生の承諾済み)。卒業生の顔を知っている年代が、同窓会の形態について少し説明、かつ、東京同窓会として今回(卒業式で)は説明する。

#### 【コンテンツの案】

下記のようなコンテンツを複数準備しておく

- ・マナー講座(スプーンフォーク、イタリアン、フレンチ等)、セミナー等に騙されないようにするための動画、お金の扱い方に関する動画→高校・大学を卒業した世代が社会に出る前に知っておいた方がよいこと
- ・美味しいごはん屋さん紹介
- ・乗換案内動画、街の案内動画(Vlog的な動画)

・縣陵 OBOG がやっているお店の紹介

・業界/職業紹介(若い世代との対話方式など、YouTube として見るには面白い)

→例えば愛のリレーで呼ぶような各界で活躍する先輩とのコラボ動画を YouTube にアップする

・1 分から 5 分の学び動画(どの世代にも向けたコンテンツとして。日々の気づきや学びを発信)

### 3. 2022 年 4 月以降の HP 制作システム、環境

1 で記したように、引継ぎ後しばらくは現在使用している BiNDup を使用していく。

しかし、今後複数人での運用、若手層へのアプローチのためのスマートフォン画面对応などのために、現在使用している BiNDup の活用に加え、他システムへの切り替えについても検討をしている。

現在検討している方式は大きく以下 3 つがある。

- WordPress
- Headless CMS
- 現行 BiNDup の継続利用

それぞれの方式のメリット、デメリット、費用感 は次の通りとなる。

メリット・デメリット比較

	メリット	デメリット
WordPress	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ CMS ソフトシェア No.1</li> <li>・ 無料ソフトである</li> <li>・ BLOG なら簡単に作成できる</li> <li>・ 既製のプラグインが充実しており、新機能追加費用が抑えやすい</li> <li>・ 将来新しい機能を追加する際、プラグインがあれば簡単にできる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ セキュリティアタックで壊される危険性が高い</li> <li>・ 旧世代の言語（PHP）なので開発・改造に難あり</li> <li>・ 表示速度が遅い（数秒）</li> <li>・ CMS 保守費が発生</li> <li>・ システム担当者交代のハードルが相応にある</li> </ul>
Headless CMS	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無料ソフトである</li> <li>・ セキュリティが高く攻撃に強い</li> <li>・ 現代的な言語（JavaScript）なので開発・改造が容易 (将来新しい機能を追加したいときでも簡単にできる)</li> <li>・ 表示速度が速い（1秒以下）</li> <li>・ 将来性のある技術で、同窓生若手を巻き込んで推進するといった新たな試みも立ち上げやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 制作には技術力が必要</li> <li>・ CMS 保守費が発生</li> <li>・ システム担当者交代のハードルが高い</li> </ul>
BiNDup	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表示速度が速い（1秒以下）</li> <li>・ 現行ページをそのまま活用できる</li> <li>・ システム運用の心配は不要 (新機能追加などもベンダー側でやってくれる)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有償ソフトである(利用料が発生)</li> <li>・ 編集者毎にライセンス料がかかる</li> <li>・ スマートフォン対応は別途ページ制作の合間に対応する必要がある。 =目に見えない費用が相応に発生 (全ページ移行の場合、無理やり費用算出して 時給 1500 円×16 時間×3 名×4 か月=288,000 円=約 30 万円。一部ページ移行でもあまり変わらない)</li> </ul>

費用感・スケジュール(税込み)

	対応業者	初期費用 (現行ページ移行は6ページ程度)	初期費用 (現行全ページ(100ページ程度)移行)	CMS 運用 費用(年間) ※サーバー代除く	切り替え期間目安 (着手からの期間)	
					移行ページ6ページ程度	全ページ移行
WordPress	サポーター ズ安曇野 (丸山氏)	495,000円 456,500円	1,115,400円 1,076,900円	132,000円 ※1	3か月後	6か月後
	草野氏	418,000円 330,000円	—	132,000円	3~4か月後	4~6か月後
	(外部業者) ※2	1,230,000円	1,600,000円	660,000円	※要精査 (概ね3~4か月程度か)	※要精査 (概ね4~6か月程度か)
Headless CMS	草野氏	1,034,000円 330,000円	1,342,000円 330,000円	132,000円	3~4か月後 ※3	4~6か月後 ※3
BiNDup	デジタルステージ (BiNDup 提供会社)	※30万円? ※4	※30万円? ※4	32,736円 or 107,796円 ※5	※要精査 (概ね3~4か月程度)	※要精査 (概ね4~6か月程度)

※1 月4時間以内であれば、システム運用に加え、簡単なページ Up も対応可  
また月4時間を超えた作業については、追加スポット対応費として2時間5000円(+  
1時間3000円)で対応可能

※2 画面のパターンを3で、PC画面、スマホ画面のテンプレート(骨格)を作成する前提

※3 リリース後に運用アイデアに応じて機能追加に応じる予定。(全機能+数か月)

※4 スマートフォン対応費用

※5 運用費の差異は、同時作業可能者が1名か20名かの違い。

安いパターンでは、1つのアカウントを複数人で利用することになり、長期利用に  
おいては倫理的に懸念あり

今回幹事会の皆様のご意見も踏まえつつ、引き続きツール選定を進めていきます。

以上